

2018 年 4 月 18 日
株式会社産業革新機構

特殊ペプチド原薬の受託製造を行うペプチスター株式会社への出資を決定

- 特殊ペプチド^{*1}は国内外製薬企業が研究開発を加速させている次世代の中分子医薬の一つ
- 特殊ペプチド原薬の各製造工程で複数日本企業と協業し、オープンイノベーションを推進
- 世界をリードする特殊ペプチド原薬の合成・製法の研究開発、製造及び販売体制の確立を目指す

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、特殊ペプチド原薬の受託製造を行うペプチスター株式会社（本社：大阪府摂津市、代表取締役社長：窪田規一、以下「ペプチスター」）の第三者割当増資を引き受け、同社の事業の成長資金として7.5億円を上限とする出資を行うことを決定しました。また、ペプチスターを設立し、2018年3月30日に同社への追加出資を公表したペプチドリーム株式会社、塩野義製薬株式会社、積水化学工業株式会社^{*2}の3社に加え、今回新たにINCJのほか、事業会社およびベンチャーキャピタル^{*3}が出資を行います。なお、今回出資した資金は、特殊ペプチド原薬製造技術の研究開発や製造設備投資、操業開始時の運転資金に充当される予定です。

^{*1}: 特殊ペプチド＝天然の20種類のアミノ酸のみならず、各種特殊（非天然型）アミノ酸（L-アミノ酸誘導体、D-アミノ酸、N-メチル化アミノ酸、 β -アミノ酸等）を組み込んだ、一般には8～20アミノ酸残基からなるペプチドのこと。

^{*2}: ペプチドリーム株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：リード・パトリック、以下「ペプチドリーム」）、塩野義製薬株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」）、積水化学工業株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：高下 貞二、以下「積水化学」）

^{*3}: 大塚化学株式会社、キシダ化学株式会社、株式会社竹中工務店、千代田化工建設株式会社、長瀬産業株式会社、株式会社中村超硬、日産化学工業株式会社、浜理薬品工業株式会社、マイクロ波化学株式会社、三菱商事株式会社、渡辺化学工業株式会社 ほかベンチャーキャピタル（50音順）

特殊ペプチドは、次世代の中分子医薬の一つとして期待され、東京大学発の技術を基に創業したペプチドリームを中心に、国内外の製薬企業が研究開発を加速させています。特殊ペプチドは、低分子化合物では実現が困難だったタンパク質同士の相互作用を阻害する治療薬を見出すことが可能であり、また、抗体医薬では到達が難しい細胞内の標的タンパク質に関しても有用であることを示す実験結果を蓄積しつつあります。そのため医薬品として応用範囲が拡大することが期待されており、特殊ペプチド原薬の安定的な供給に対するニーズが世界的に高まっています。しかしながら、高品質な特殊ペプチド原薬を低コストで安定供給できる製造受託機関は未だ存在していません。

そのような状況において、2017年9月1日、ペプチスターは特殊ペプチド原薬の研究開発、製

造および販売を行うことを目的として、ペプチドリーム、塩野義製薬、積水化学の３社によって設立されました。ペプチスターは、特殊ペプチドを製造する工程において様々な企業と開発を進め、世界をリードする特殊ペプチド原薬の製造体制を確立することを目指しています。

INCJ は、ペプチスターへの出資を通して、次世代の医薬品として期待が高まる特殊ペプチド原薬の低コストで安定的な製造を支援することにより、日本の医療費削減にも寄与できると期待しています。また、特殊ペプチドの各製造工程において、日本を代表する専門性の高い企業と協業することにより、大企業と中小企業、ベンチャー企業間のオープンイノベーションを推進します。さらに、次世代の創薬技術として注目を集める特殊ペプチド原薬を日本国内で製造して国内外に供給することにより、日本発次世代医薬品の新産業として育成を図れるものと考えています。

ペプチスター株式会社について

設立 : 2017 年 9 月
事業内容 : 特殊ペプチド原薬の研究開発、製造及び販売
所在地 : 大阪府摂津市
代表者 : 代表取締役社長 窪田 規一

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階
電 話 : 03-5218-7202 URL : <http://www.incj.co.jp/>

新規支援決定案件の概要

1. 対象事業者

- ・ 事業者名：ペプチスター株式会社
- ・ 設立：2017年9月
- ・ 所在地：大阪府摂津市
- ・ 代表者：代表取締役社長 窪田 規一
- ・ 事業内容：特殊ペプチド原薬の研究開発、製造及び販売

2. 支援決定内容

- ・ 支援決定金額：7.5億円（上限）
- ・ 実投資金額：7.5億円（予定）
- ・ 共同投資家：大塚化学株式会社、キシダ化学株式会社、塩野義製薬株式会社、積水化学工業株式会社、株式会社竹中工務店、千代田化工建設株式会社、長瀬産業株式会社、株式会社中村超硬、日産化学工業株式会社、浜理薬品工業株式会社、ペプチドリーム株式会社、マイクロ波化学株式会社、三菱商事株式会社、渡辺化学工業株式会社 ほかベンチャーキャピタル（50音順）
- ・ 株式保有割合：6.8%（予定）
- ・ 投資ストラクチャー図：別添

3. 投資意義

<社会的ニーズへの対応>

- ・ 次世代の医薬品として期待が高まる特殊ペプチド原薬の工業的製造を推進することで、画期的新薬の実用化を間接的に支援
- ・ 製造コストの低い特殊ペプチドの実用化を推進することにより、医療費削減に寄与

<成長性>

- ・ 特殊ペプチドは、次世代の医薬品として期待が高まっている
- ・ 特殊ペプチド委託製造の需要は高まっているため、民間事業者等からの資金供給も予定されるとともに、IPO 要件達成の可能性は十分にある

<革新性>

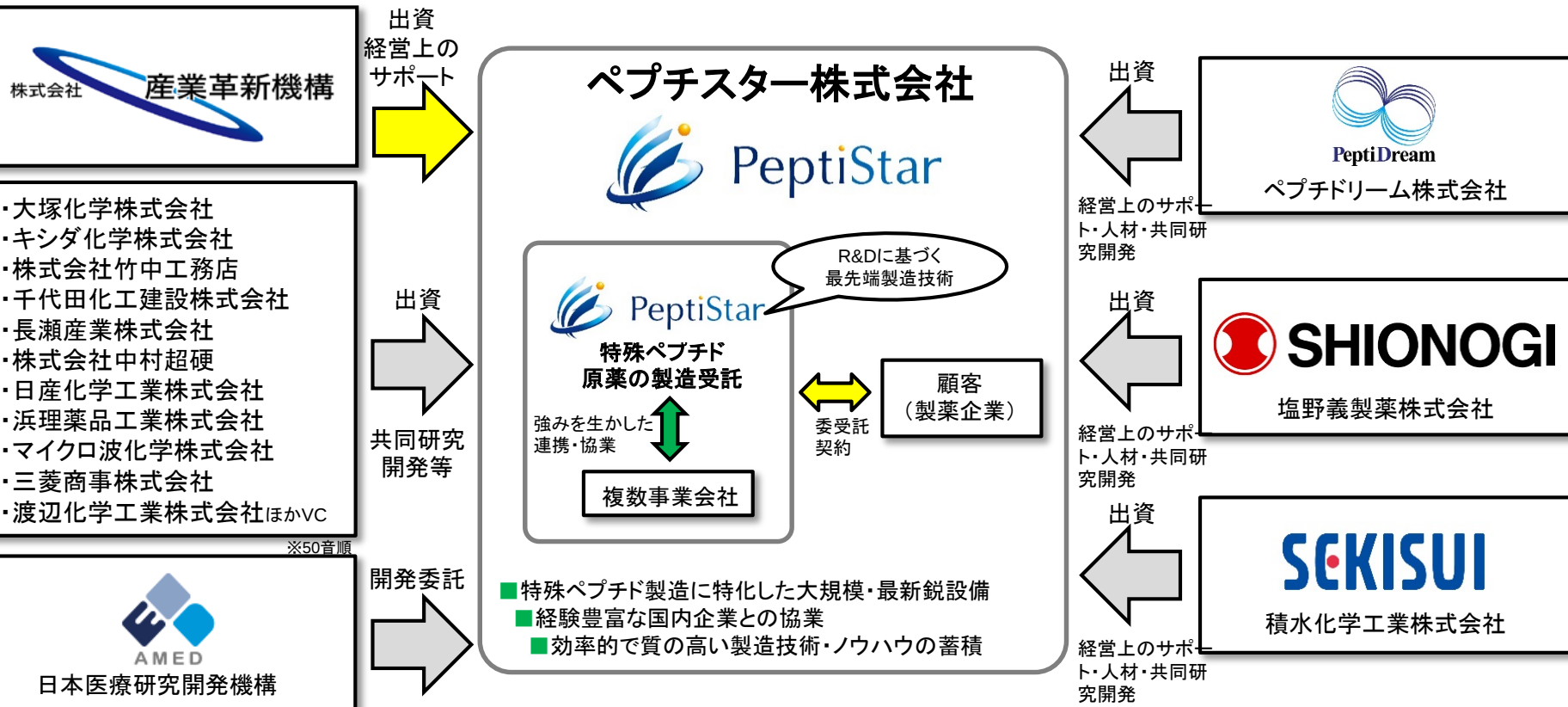
- ・ 特殊ペプチド原薬の各製造工程において、複数の国内企業と協業・技術開発を進めるオープンイノベーションを推進

投資対象：ペプチスター株式会社

事業内容：特殊ペプチド原薬の研究開発、製造及び販売

支援決定金額：7.5億円(上限)

支援決定公表日：2018年4月18日



- ・ 東京大学発の技術をもとに開発された、次世代の医薬品として期待が高まる特殊ペプチド原薬の工業的製造を支援
- ・ 特殊ペプチド原薬の各製造工程において、複数の日本企業と協業するオープンイノベーション体制を支援